

教科	科目	単位数	学年	集団
家庭	家庭基礎	2	1	総合探究科、スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
図説家庭基礎（実教出版）	なし

科目の目標
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それに係る技能を身に付けようとする。
②思考・判断・表現	(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現し、生涯を見通して解決する力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養おうとしている。
評価方法	
①知識・技能：定期試験、実技実習 ②思考・判断・表現：定期試験、授業のワークシート、振り返りシート、レポートなど ③主体的に学習に取り組む態度：授業のワークシート、振り返りシート、レポートなど	

学習計画						
月			単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A 人の一生と家族・家庭及び福祉	第1章 自分らしい生き方と家族	・人の一生について自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ・主体的に自己の生活課題について考え、将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫することができる。	○	○	○
5	A 人の一生と家族・家庭及び福祉	第1章 自分らしい生き方と家族	・生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、社会との関わりについて理解している。 ・より良い生活の創造のため主体的に行動・考察ができる。	○	○	○
6	A 人の一生と家族・家庭及び福祉	第2章 子どもとかかわる 第4章 社会とかかわる	・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、乳幼児と適切に係るための基礎的な技能を身に付けている。 ・子どもを生み育てる意義や社会の果たす役割について主体的に考察ができる。	○	○	○
7	B 衣食住の生活の自立と設計	第6章 衣生活をつくる	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集や整理ができる。	○	○	○

9	B 衣食住の生活の自立と設計	第6章 衣生活をつくる	・被服材料, 被服構成及び被服衛生について理解し, 被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	○		○
10	B 衣食住の生活の自立と設計	第6章 衣生活をつくる 第5章 食生活をつくる	・被服の機能性や快適性について主体的に考察し, 被服の管理や目的に応じた着装を工夫することができる。 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質, 健康や環境に配慮した食生活について理解している。	○		○
11	B 衣食住の生活の自立と設計	第5章 食生活をつくる	・おいしさや構成要素や食品の調理上の性質, 食品衛生について理解し, 目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。 ・健康や環境に配慮した食生活について主体的に考察し, 工夫することができる。	○	○	○
12	B 衣食住の生活の自立と設計	第7章 住生活をつくる	・ライフステージに応じた住生活の特徴, 防災などの安全や環境に配慮した住生活の機能について理解している。 ・住居について主体的に考察し, 防災などの安全や環境に配慮し住生活を工夫することができる。	○	○	○
1	C 持続可能な消費生活・環境	第8章 経済的に自立する 第9章 消費行動を考える	・家計の構造や生活における社会との関わり, 家計管理について理解している。 ・持続可能な社会を目指して主体的な行動ができるよう, 安全で安心な生活と消費について考察し, 工夫することができる。	○	○	○
2	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	第3章 高齢者とかかわる ホームプロジェクト	・高齢期の心身の特徴, 社会環境, 高齢者の尊厳と自立生活の支援について理解し, 主体的に行動ができる。 ・ホームプロジェクトの意義を理解している。		○	○
3	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	ホームプロジェクト	・自己の家庭生活や地域と関連づけて生活上の課題を設定し, 解決方法を考察し, 主体的に計画を立てて実践することができる。		○	○